

## 5.コロナ禍で、勤務環境があなた(看護職)にもたらした変化について (報告1のみ)

<b>1.防護具の不足やPPEの対応など (107件)</b>
ビニール手袋・エプロンがない (2年目・3年目・4年目・5年目・6年目・7年目・9年目・10年目・11年目多数)
何度も同じものを使用していた (10年目)
防護具が不足するため購入量の増加を希望する (2年目)
PPE物品が足りず、コロナ以外の感染の人に対して十分な防護ができなかった (2年目)
マスクやゴム手袋が不足し、病院の支給分では足りず、自費購入をし、使いまわしをしていた。素手で処置することもありコロナ以外の感染症も心配だった。清掃業者やボランティア、家族の訪問が制限されて、患者の身の回りの世話や清掃・消毒にかかわる業務が増えた (11年目)
コロナ疑いと一般患者を同時に見ることになるとPPEを徹底しなければならず、多忙である (2年目)
<b>2.看護基礎教育</b>
昨年の5月よりweb授業、6月より対面授業となり、座学には大きな影響はなかったが、実習受け入れは断られ、実習計画の再三の修正や他施設への実習依頼に苦慮した。医療体制の脆弱な地域での実習を断られると遠方での施設実習となり交通費や宿泊費迄学生の負担増となった (50代教員)
学校の整備が不足、大学が増えても教育の均一化ができていないことがコロナで明らかになった (6年目)
臨床が大変なことはとてもよくわかりますが、教育現場に対してタイムリーな指示が国や県から表明されない事。個々の学校判断で実施していること。学校任せが多すぎます。実習に行けないという現状をもっと理解してもらいたい。 (40代教員)
病院実習が受け入れられないのであれば、シミュレーションセンターの開設を早く設置し、学生が臨地で体験することを少しでも学内で体験できるように設備を整えてほしい。シミュレーターや人形の使いまわしは意味がない。 (50代教員)
慰労金については臨地の看護職が対象ですが教員が対象でないことは納得できません。私たち教員も看護師であり、コロナで大変な病院に迷惑をかけないように様々な工夫や努力をして教育活動をしています。看護師は大変で教員は大変ではないということなののでしょうか？これからの医療を支える学生を育成している機関に、もう少し配慮をしていただきたいです。私たちの仕事が、決して現場の看護師より楽なわけではありません。教育現場のこともう少しわかってください。 (50代教員)
実習施設からの制限や学生・教員の外出制限の条件などばらばらでわかりにくかった (厚労省・文科省) (31年目以上)
学生が安心して実習できるように学生全員・教員のPCR検査を無償でできるようにお願いします (50代教員)
<b>3.マンパワーの不足と潜在看護師の活用と人材育成 (211件)</b>
コロナ患者が多くそれに加えコロナ患者以外の患者も多く (有熱者) スタッフの人数は足りない (5年目)
救急スタッフ、ICUスタッフが大変 (4年目)
看護師の業務負担、とにかく業務内容が増えた。医師などの多職種の仕事も含め、雑用はすべて看護師、人手が不足していて看護師の負担が大きい (4年目)
コロナを受け持つ毎日で感染に対してさらに厳しくなったことにより、いつもの倍以上に仕事が忙しい。誰が重症コロナ患者を受け持つか毎日考えさせられ、連続して受け持たないように配慮しているが結局、医療崩壊でそれどころではない (3年目)
コロナ患者受け入れのための転床患者が多く、マンパワーが不足している (6年目)
新人研修の未実施や開催の中止があり、学習の機会が減っている。同期入植者間の情報交換が院内・院外共にできない。開催されても参加できないためにオンラインで手軽に参加できる施設の整備をお願いしたい (1年目)
クラスター発生しても他院からの応援がもらえない。マンパワーが足りない(6年目)
人員の不足、人材の育成が間に合っていない (2年目・4年目)
コロナ、コロナ疑い患者への対応に追われて他の患者への看護が行き届かないほど人材が不足している (2年目)
救急でコロナ重症者を受け入れたことで、病棟に患者を受け入れ重症度が上がったことで病棟のマンパワーが不足している。面会禁止により、家族からの情報収集や支援が得られず、介入に困った。仕事が回らず残業が増え、体調を崩しやすくなった。 (4年目)
コロナ禍で人手不足と騒がれていたが、実際、コロナ関係なく以前から慢性的な人手不足がある。その人手不足になる原因が何であるか根本的な解決が長年できていないのが問題である (6年目)
<b>4.地域におけるコロナ禍の感染対策</b>
病院で決めたコロナ対策を患者やその家族に説明しても協力が得られない。その対応に時間がかかる (3年目)
医療者と非医療者との間で危機感や感染防御、回避行動に対する差が大きすぎる (2年目)
住民が発熱で外来受診した際に、一時的に隔離できる場所が欲しい。また、PCR検査を受けやすくしてほしい (2年目)

私は外科病棟で働いていて、本来なら術後 ICU に入る患者さんが（ICU がコロナ患者で満床のため）病棟直帰になることが増えた。長時間のリスクのある手術後の患者さんを一般病棟でみるのは患者さんの安全が担保できないのではないかと思います。それに伴ってスタッフも忙しくなり本当に毎日大変です。スタッフは昼食も誰とも話さず一人で食べ、休日も出歩いていないのに、なぜ、飲み会、カラオケ、多人数での集まりでコロナ感染した患者の看護をしなければならないのでしょうか。その人たちのせいで毎日遅くまで残り、疲れています。医療者に感謝の言葉はいいりません。お休みやもしくは手当が必要で。（2年目）
在宅患者を守る訪問看護にもっと手厚い支援をしてほしい（5年目）
<b>5.不安や恐怖、ストレスなど</b>
家族がいると自分自身に移してしまうのではないかと不安が常にある。近所からは医療者であるというだけで偏見の目で見られる（6年目）
感染するか、させられるかわからない怖さが常に付きまとい疲れました。（6年目）
ICUは通常業務だけでも忙しいが、コロナ患者受け入れが開始されてからはそちらに人員がとられ、より人手不足が深刻となり、より残業がまし、疲弊している。私自身もストレス、疲労の蓄積から、うつ病・不安障害を発症し現在、休職中である。ほかにも同じような理由で休職している方がたくさんいる。スタッフの確保やそこで働く人に対する保障はもっと充実させたり休息もとれるようにしないと、医療崩壊はどんどん悪い方向に進んでいくと思う。（1年目）
風評被害があること（6年目）
コロナ患者を受け持つことへの精神的疲労感が蓄積（6年目）
PCR検査が未の患者さんが、病棟に上がってくることもあり、グレー対応として防護していたが、やはり感染しないかなどの恐怖心はあった（5年目）
看護師であることを外であまり言えなくなった（コロナ感染しているんじゃない？といわれるため）（1年目）
体調不良時の休みがとりやすくなった（10年目）
感染リスクと常に隣り合わせでストレスが常にあります（2年目）
業務の増加や患者・家族に対する検温、面会制限の説明及びそれに対するクレームなどの対応による精神的ストレス（2年目）
面会制限、外出制限によるストレスが患者・医療者にも強く出ている（4年目）
コロナ患者を受け持つことへの不安が強い（4年目）
コロナ患者受け入れ準備のために感染対策の強化をするために感染対策のテストやデモンストレーション実施の労力とストレスが大きい（4年目）
面会制限によりスタッフのストレスが増えた（6年目）
看護職への差別、偏見を感じた（30年目以上2件）
<b>6.慰労金再給付と手当と寄付金など</b>
コロナケア1日3,000円は少ない（3年目）
コロナ対応勤務に特別な手当がない。（5年目）
コロナ患者を受け入れる体制づくりと同じようにしっかりと危険手当を出してほしい（10年目）
再度の支援金を希望する特にコロナ病棟に勤務する看護師に対しては希望する（2年目）
コロナ対応の給付金だけでなく、コロナによる他患者受け入れなどに対する手当が欲しい（10年目）
コロナ対応で収入減した病院、スタッフへの減給分の補填を希望します（10年目）
医療者への慰労金は一律にすべきだと思います。受け入れ病床が満床であるため、そうでない病院もコロナ陽性患者を看護しています。（2年目）
プライベートも制限され、医療者だからという理由で規制がかかること、現場が忙しく、慣れない業務も加わっているのに、手当や給料が増えるわけでもない、むしろボーナスは減給だったこと（4年目）
ジャニーズ事務所からの寄付金の使い方、コロナ最前線で働くスタッフに充てるべきではないか（4年目）
看護協会などにされた寄付・基金の使い道について、現場に反映されている感じはないです。（2年目）
コロナ患者の受け入れに関係なく周辺に及ぶしわ寄せがあるから看護師全員に追加の支援金が必要（4年目）
コロナが収束するまで危険手当は続けてほしい。
病院や施設にもっとお金を回せないか（10年目）
慰労金の対象に看護教員も入れてほしい（3件）（31年目以上）
<b>7.看護職の働き方の推進</b>
ICU勤務で日勤終了が毎日21時過ぎ、疲れを感じている（2年目）
ボーナスはコロナ対応していない病院と同じくカットされた。コロナ病棟勤務者についてはもう少し支援すべきだと思う（10年目）
看護師は使い捨ての存在だと感じるの切ないです。少しでも労働環境が良くなるように宜しくお願いいたします（4年目）
コロナを実際に見ている病棟に支援金を出してほしい（2年目）

Covid-19 に感染するリスクが高い中、Covid-19 陽性患者を対応しているにもかかわらず、手当が少ない。(6 年目)
発熱患者、新型コロナウイルス疑いの患者、陽性患者の医療・看護に関する危険手当に対する充実(2 年目)
残業時間が増加して、人材不足のため看護職間の応援がない(施設内)(4 年目)
給料の見直し(給料を上げて欲しい)をお願いする(4 年目)
給与面のサポート(2 年目)
早残業禁止にしてほしい(10 年目)
残業や時間外勤務が当たり前の環境であるにもかかわらず、給与に反映されていない(6 年目)
看護師の激務内容にあった給与にしてほしい。現在の仕事内容で子育てしながら仕事をしようとは思えない。(6 年目)
働く内容とお金が見合っていません(2 年目)
<b>8.診療報酬・介護報酬の改定</b>
看護師の有休を自由に取得するためには、現場の負担が増悪する改悪はしないでほしい(10 年目)
いろいろな加算を取るための記録業務(褥瘡・転倒転落・身体抑制・看護必要度など)が増えて、負担になっている。記録業務を減らすと残業も減り、患者ケアにも時間が取れる(11 年目)
7:1 の見直しを早急をお願いする(5 年目)
<b>9.看護職国会議員への要望</b>
給付金の再給付を呼びかけてほしい
希望すれば速やかに抗体検査が受けられる体制または定期的検査ができるよう整備をお願いしたい(2 年目)
病院への資金を増やしてほしいです。私たちスタッフに慰労金が入ったとしても、その分給料やボーナスはカット、減給です。現場は疲れ切っています。今までより少ない給料でもっと働けと言われ離職しか考えられません(6 年目)
具体的に堅実に活動されている印象が少ない。「7:1」の廃止、夜間休日の人員削減廃止、セクハラ等行った協力拒否する患者への罰則強化、医療者側の正当性の説明、記録提出のために睡眠がとれていない看護学生、給料アップ、パワハラにもっと声を上げやすい制度、生活保護不正受給者などまだまだ書き足りないことがたくさんあります。 表面上の綺麗ごとほど無駄なものはありません。あなた方世代のだけでなく若い世代に目を向けてほしい。(2 年目)
国民の見本になるために襟を正してほしい(会食など)(2 年目)
こんな時こそ、存在感をアピールしてほしい(31 年目)
看護職たくさんいるのにその声が届きづらい！なぜでしょうか？もっと目に見える活動をしてほしい(30 年目以上)
医療現場が忙しく、美容院やショッピングにも行けない状況の中、議員のテレビ出演などでは服装 髪型などには気を付けてほしい(4 年目)
看護職の未来のために道を切り開いてほしい(2 年目)
看護師が全国的になぜ不足しているのか、何を改善すべきなのか根本的に考えてほしい(5 年目)
<b>10.その他</b>
議員は現状把握に関して視察などをしてほしい。要望や困っていることを直接聞き取りしてほしい。(10 年目)
経済も大切ですが感染収束に専念してほしい(6 年目)
正しいマスクの着用をお願いしたい(31 年目)
コロナが終わったら、医療法や看護制度の見直しをしてほしい(31 年目以上、教員)